

第9回
スマイル
インタビュー

結成のきっかけは？



畠中会長

35年前にふるさとの歴史を記録に残そうと、同好者が集まりました。今は60〜80歳の会員が26名います。

どんな活動をしているのですか？

年間6回を超える市域内外の歴史探訪やその後の勉強会、本の出版もこれまでに7冊しています。

現在は、「方言集」の作成に取り組んでいるのですが、これは単語の方言集ではなく、文章でつづいた方言集なので、楽しく読んでいただけるものになると思います。

楽しい、元気がでるのはどんな時ですか？

皆でバスに乗って一日・一泊研修に行く時、その後のスライド上映会も楽しいひとときです。

今年の一泊は萩に行く予定です。

気にかけていることはありますか？

市内をガイドするボランティアガイドの育成には、勉強会や現地実習を行い今最も力を入れています。そして、お気軽に私たちの会（輪）の中へお待ちしています。

会のモットーはありますか？

大竹市歴史研究会という名称は少し硬い感じですが、モットーは、100%のうち50%は「勉強しよう！」、あとの50%は「友達になろう！ 触れ合おう！ 元気になるう！」です。

最後にひとことお願いします。

流れの速い社会の中で、みなさんが、文化に目を向け、文化に対する意識を高めて欲しいと願っています。

私たちは、「立ちどまり、振り返ろうよ」と呼びかけ、先人たちが築き上げたふるさとの歴史を、次世代に届けようと頑張っています。随時、ホームページを更新しています。ぜひ、ご覧ください。



定例会にて (H27.6.9)



歴史に繋がる「石垣研修」備後吉備津神社にて (H27.6.4)

あ
と
が
き

大竹市議会も8月をもって改選を迎えます。私たち広報広聴特別委員もこれで最後の議会だより編集となりました。この2年間、議会で議論された中身を、みなさんに分かり易くお伝えすることに努力してきましたが、今月号をご覧になっていかがでしょうか。

大竹市を取り巻く環境は依然厳しいものがあります。消滅可能性都市ということが昨年指摘され、全国の自治体に衝撃が走りました。本市の人口も小方ヶ丘住宅建設などで一時増加に転じましたが減少傾向には歯止めがかりません。国自体の課題でもありますが本市も独自の政策をこれからは多く展開していかなければなりません。

課題は多くありますが、議会の役割として、皆さんの声を聴き、課題を発見し、それを解決する方法を提案することが求められます。間もなく市議会議員選挙が始まります。各候補それぞれの政策に注目し、必ず投票しましょう。

暑さも最盛期を迎えてきました。みなさんお体には気をつけて下さい。



広報広聴特別委員会

委員長
副委員長

乃美晴一 網谷芳孝 藤井馨 児玉朋也 北林隆 山崎年一 細川雅子

2年間、広報広聴特別委員として頑張ってきました。9月から新しいメンバーで取り組むことになりました。どうもありがとうございます。

発行・平成27年8月1日 大竹市議会 広島県大竹市小方一丁目11-1 TEL 0827-59-2183

市議会だよりは市のホームページにも掲載しています。